

4. 環境マスタープランの目標への達成状況

「環境マスタープラン」に掲げる、5つの基本目標ごとの達成目標の進捗状況を報告します。

(1) 地域で取り組む地球温暖化の防止 ～低炭素社会を目指すまちづくり～

【目標達成状況】

達成目標	基準年度	2019年度	2020年度	目標値	目標達成状況 ■■■■■■■■■■→達成
①市民一人あたりの二酸化炭素排出量の10%削減を目指す	3.8 (t-CO ₂ /人)	3.68 (t-CO ₂ /人)	集計中	3.42 (t-CO ₂ /人)	★ ☆ ☆ ☆ ☆
②再生可能エネルギーの市内エネルギー消費量に対する割合0.3%を目指す	0.05%	-	-	0.3%	★ ★ ★ ☆ ☆
※市内の再生可能エネルギー(FIT)導入率	-	2.9%	集計中	-	
③徒歩、または自転車・電車・バスを利用する市民の割合47.1%を目指す	37.1%	32.2%	30.9%	47.1%	★ ☆ ☆ ☆ ☆

- ① 東日本大震災以降に減少した電力、都市ガス等の使用量は、多少の減少傾向は見られますが、近年概ね横ばい傾向です。大幅な二酸化炭素排出量の削減は進んでいません。2020年度の数値は、「町田市環境白書 2022」に掲載予定です。
- ② 市内のエネルギー消費量に対する再生可能エネルギーの割合は、2016年度まで実施していた設置補助事業による導入設備を対象としていたため、事業が完了した2017年度以降は、環境省「自治体排出量カルテ」を参照し記載しています。
- ③ マイカーをできるだけ控える市民の割合は概ね横ばいで推移しています。

(2) 自然環境と歴史的文化的環境の保全 ～水とみどりと生き物を守り育むまちづくり～

【目標達成状況】

達成目標	基準年度	2019年度	2020年度	目標値	目標達成状況 ■■■■■■■■■■→達成
①市域面積に占める安定的に確保された緑地の割合30%を目指す	28.9%	28.7%	28.6%	30.0%	★ ☆ ☆ ☆ ☆
②市内での水辺とのふれあいに満足している市民の割合49.8%を目指す	39.8%	52.0%	48.2%	49.8%	★ ★ ★ ★ ☆
③生きものに関心のある市民の割合40%を目指す	31.3%	33.7%	34.4%	40.0%	★ ★ ☆ ☆ ☆

- ① 市域面積に占める緑地の割合は、2019年度から概ね横ばいで推移しています。
- ② 水辺とのふれあいについて、満足している市民の割合は2017年度から増加傾向でしたが、2020年度は減少しています。
- ③ 生きものに関心のある市民の割合は、増加しています。

(3) 持続可能な循環型社会の構築 ～ごみを減らし資源を有効活用するまちづくり～

【目標達成状況】

達成目標	基準年度	2019年度	2020年度	目標値 (2020年度)	目標達成状況 ■■■■■■■■■■→達成
①ごみとして処理する量を6万tにする	99,152t	94,309t	94,719t	60,000t	★☆☆☆☆
②一人一日あたりの総ごみ量 782g/人・日を目指す	842.0 g/人・日	767.9 g/人・日	774.7 g/人・日	782.0 g/人・日	★★★★★
③資源化率54%を目指す	26.7%	24.8%	25.1%	54%	★☆☆☆☆

- ① 2020年度のごみとして処理する量は94,719tと基準年度に比べ4.5%減少しています。
- ② 一人一日あたりのごみ量は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛による家庭ごみ増加の影響で、2019年度より増加しましたが、目標は達成しています。
- ③ 資源化率は2019年度と比較すると増加していますが、基準年度からは低下しています。

コラム 地球温暖化の緩和策と適応策

世界では、地球温暖化により、かつて経験したことのないような気候の変化が生じています。極端な豪雨や高温によって、自然災害が相次いでいますが、例えば、2019(令和元)年の台風19号が、町田市においても土砂崩れ等の被害をもたらしました。近年の台風の大型化は、日本周辺の海水温度の上昇が影響していると考えられています。こうした地球温暖化の問題に対処するための方策には、大きく分けて2つあります。

かんわさく 緩和策…温室効果ガスの排出を抑制すること

二酸化炭素をなるべく排出しないエネルギーの使用や省エネ行動・省資源へつなげる選択をすることが、緩和策に繋がります。

例えば、家庭では再生可能エネルギーの導入や省エネルギー対策を行うことができます。また交通分野では、徒歩や自転車、公共交通機関を利用すること、燃費の良い次世代自動車に乗ること等があげられます。



てきおうさく 適応策…温暖化の悪影響にあらかじめ備えておくこと

地球温暖化が進むと、暑い日が増えますが、熱中症にならないように、暑さを避けたり、こまめに水分をとったりすることも適応策の一つです。

また豪雨や台風にも備え、避難に必要な知識を習得し、災害時の避難に備えた行動計画(マイタイムライン)を一人ひとりが作成しておくことなども大切です。町田市ホームページでも、風水害対策に関する情報を発信しています。



町田市 ホームページ [トップページ](#) > [暮らし](#) > [防犯・防災](#) > [防災](#) > [町田市の風水害対策](#) > [台風の接近・集中豪雨の発生に備えて事前に知っておこう!](#)

出典：環境省ホームページ、気候変動適応情報プラットフォーム

(4) 良好な生活環境の創造 ～安全で快適な暮らしを実現するまちづくり～

【目標達成状況】

達成目標	基準年度	2019年度	2020年度	目標値	目標達成状況 ■■■■■■■■■■→達成
①市内の大気質(SO ₂ 、NO ₂ 、SPM)の環境基準達成を目指す	SO ₂ 、NO ₂ 、SPMの基準値達成	SO ₂ 、NO ₂ 、SPMの基準値達成	SO ₂ 、NO ₂ 、SPMの基準値達成	全項目基準値達成	★ ★ ★ ★ ★
②市域の河川(鶴見川、境川、恩田川を対象)の水質(pH、BOD、SS、DO)の環境基準達成を目指す	恩田川のpH以外基準値達成	pH以外基準値達成	pH以外基準値達成	全項目基準値達成	★ ★ ★ ★ ☆
③居住地の周辺環境に満足している市民の割合67.7%を目指す	62.7%	72.4%	67.3%	67.7%	★ ★ ★ ★ ☆

- ① 2020年度までは、大気に関する項目は、すべての対象項目(SO₂、NO₂、SPM)で環境基準を達成しています。
- ② 河川の水質に関する項目は、水素イオン濃度(pH)以外は、環境基準を達成しています。pHは、3河川ともアルカリ側に超過しており、藻の光合成の影響と考えられます。
- ③ 居住地の周辺環境に満足している市民の割合は、67.3%で、基準年度より4.6ポイント増加しています。

(5) 環境に配慮した生活スタイルの定着 ～学び・協働で進めるまちづくり～

【目標達成状況】

達成目標	基準年度	2019年度	2020年度	目標値	目標達成状況 ■■■■■■■■■■→達成
①環境に配慮した行動を行っている市民の割合50.7%を目指す	40.7%	38.9%	39.6%	50.7%	★ ☆ ☆ ☆ ☆
②市内小中学校での環境教育や環境配慮行動の実施100%を目指す	100%	100%	100%	100%	★ ★ ★ ★ ★
③環境学習や環境に関するイベント等へ積極的に参加する市民の割合17.6%を目指す	10.6%	13.0%	13.5%	17.6%	★ ★ ☆ ☆ ☆

- ① 環境に配慮した行動を行っている市民の割合は、基準年度より減少しています。
- ② 市内の小中学校における環境学習は全校で継続的に実施され、定着しています。
- ③ 環境学習や環境に関するイベントへの参加率は基準年度より2.9ポイント増加しています。

注)「目標達成状況」の★の数について

- ★☆☆☆☆ 0・10%
- ★★★★☆ 20・30%
- ★★★☆☆ 40・50・60%
- ★★★★☆ 70・80・90%
- ★★★★★ 100%

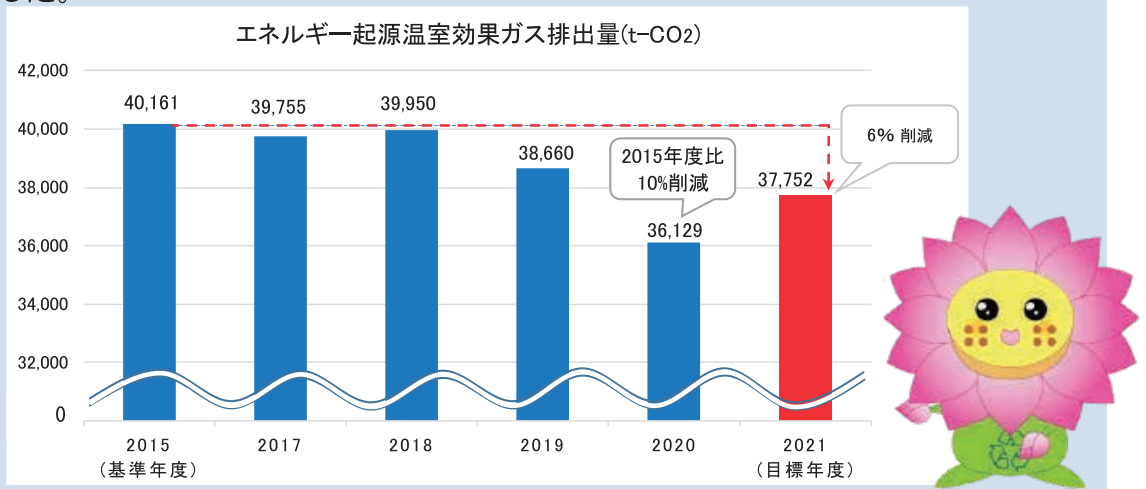
町田市役所の地球温暖化対策

町田市では、市役所における2017年度から2021年度の5年間の地球温暖化対策実行計画として、「町田市第4次環境配慮行動計画（以下、第4次行動計画）」を策定し、温室効果ガス排出量削減のため、省エネ・省資源、廃棄物の減量等の取り組みを行っています。

温室効果ガス総排出量

第4次行動計画では、主に職員の事務事業活動における電気・都市ガス・燃料等の使用から算出されるエネルギーを起源とする温室効果ガス排出量について、**2021年度までに2015年度比で6%以上削減すること**を目標に掲げています。

2020年度の温室効果ガス排出量は36,129t-CO₂で、2015年度と比較して**10%減少**しました。



具体的には、下記のような取り組みを行っています。

エコオフィス活動

省エネ・省資源につながる活動を各職場で実施しています。

<活動例>

- ・用紙の適正使用（2in1印刷や両面印刷）
- ・空調や施設設備の適正使用
- ・エコドライブの推進

グリーン購入

環境に配慮した製品がより多く市場に出回るように、市役所では、文房具等消耗品を中心に、できるだけ環境への負荷の少ない商品を優先的に選んで購入する「グリーン購入」を推進しています。

環境配慮契約（電気）

市役所では、電力契約を行う際、契約する電力会社の供給する電気が、環境に配慮したものか、一定の基準を設けて確認し、事業者を選定しています。



これからもいろんな取り組みを実践して、環境負荷低減に貢献するのん♪

町田市の取り組み情報詳細は、市のホームページでもご覧いただけます。ホームページの検索フォームで『環境マネジメント』と検索してみてください。

町田市環境マネジメントシステム

町田市では、町田市第4次環境配慮行動計画に基づく環境に関する取り組みを適切に進行管理するシステムとして、「町田市環境マネジメントシステム（以下、町田市EMS）」を運用しています。町田市EMSは、各部署の取り組み状況を内部環境監査や、外部評価で点検・評価し、市長総括による見直しを行う仕組みになっています。

Step 1

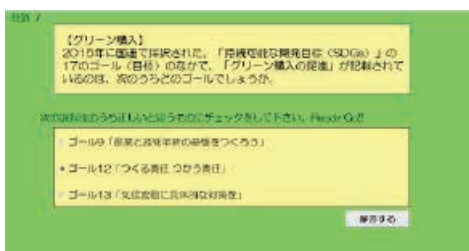
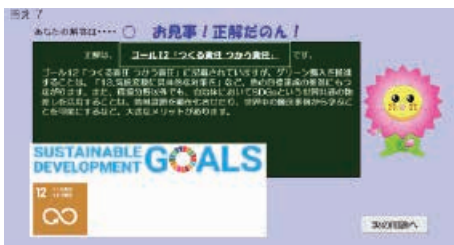
職員が学びます

[職員研修の開催]

1. 管理職研修
新任の管理職を対象とした研修です。
2. 庁舎管理責任者研修
施設所管部署の職員を対象とした研修です。
3. 環境推進員研修
市役所各課におけるエコオフィス活動の推進役として任命された「環境推進員」の研修です。
4. 新入職員研修
新たに入庁した職員向けの研修です。

[職場研修の実施]

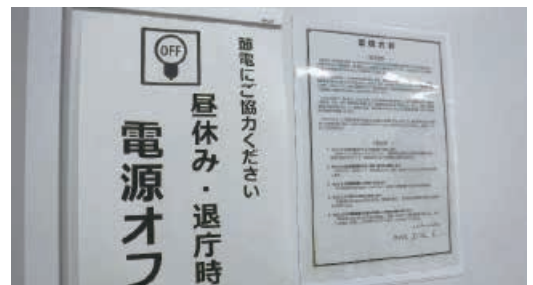
職員研修後、部署ごとに内容を定めて職場研修を実施しています。環境に関する問題に各自がパソコンで回答するeラーニングも実施しています。



Step 2

職員が取り組みます

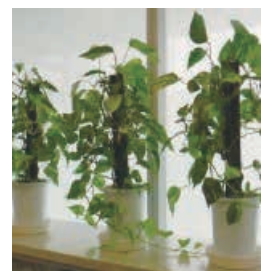
[エコオフィス活動の実施]



不要時の消灯について意識を高めるため数カ所に掲示している



別ステーション
の設置



吹き抜けからの照り返しが強い
ため、観葉植物で遮光

[市役所全体の紙購入量の削減]

紙購入量の削減について、目標値は設定しないものの、市役所全体の紙購入量について、実績を把握・管理し、削減に努めています。

[環境法令の遵守]

町田市の多くの施設で該当する環境法令を対象として、遵守事項をまとめた「環境法令遵守チェックシート」を作成して遵守事項の確認を行うとともに、遵守状況の自己点検を実施します。



Step 3

取り組んだ結果を確認します

[内部環境監査]

内部環境監査では、職員が監査員となり、活動状況、エネルギー使用量の監査を行います。年1回定期監査を行い、改善すべき点があった場合はフォローアップ監査も実施しています。例年、出先機関や学校など約20か所を対象に行っています。

[外部評価]

外部評価委員が市役所の環境への取り組みを評価します。外部評価委員は、市民、事業者、学識経験者で構成しています。外部評価委員の方々には、委員会での議論や現地確認を通して、前年度の取り組み結果を評価していただいています。



外部評価委員による現地確認の様子（2019年度）

[市長総括]

前年度の実績、内部環境監査、外部評価を踏まえ、市長が総括を行います。

Step 4

確認した結果を話し合います

[町田市省エネルギー等対策会議]

STEP3の市長総括結果を受け、さらなる温室効果ガス削減の推進に必要な措置等を諮る会議です。

- ▶ 結果を次年度の取り組みや研修の内容に活かします。
- ▶ Step 1～4を繰り返し行うことで、さらなる改善につなげます。

エコな市役所を目指して
がんばっているのん♪



町田市
環境白書 2021
—活動報告—

編集・発行	町田市環境資源部 環境政策課
所在地	〒194-8520 町田市森野2丁目2番22号
電話	042-724-4386
発行日	2021年11月30日
編集協力	アオイ環境株式会社
印刷	福川印刷株式会社
刊行物番号	21-45

この冊子は、1,000部作成し、1部あたりの単価は762円です（職員人件費を含みます）。

リサイクル適性 **A**

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。